

## 第十七章 聖霊なる神・内住と証印

### I 現在の新しい特徴

旧約聖書にはすべての信者たちに聖霊が内住したという証拠はない。それは、旧約聖書がこのことに沈黙していること、イエス・キリストが旧約聖書の時代と今の時代を対照させて、「その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです」（ヨハネ 14：17）と明白に教えられたことから明らかである。信者に聖霊が内住されることは今の時代のきわだった特徴である。

### II 信者への聖霊の普遍的な内住

#### 1、すべての信者への内住

旧約時代には一部の者にだけ内住が与えられたが、ペンテコステ以後は、すべての信者に聖霊が内住するようになった。（ヨハネ 7：37-39、使徒 11：17、ローマ 5：5、8：9-11、I コリ 2：12、6：19-20、12：13、II コリ 5：5、ガラ 3：2、4：6、I ヨハ 3：24、4：13）

（問）ローマ 8：9-11 とユダ 19 を読んでどのようなことがわかるか。

#### 2、神の賜物としての油注ぎ

前述の聖書箇所からもわかるように、聖霊が注がれたのは神の一方的な賜物である。キリストに従って生きようと望む者に要求される高い基準は、それに必要な上からの力を与えてくださる聖霊の内住を前提としている。祭司や王たちが油注がれて、聖なる務めに任ぜられたと同様に、キリスト者も救われた時、油注がれて、新しい行き方へと聖別されるのである。（II コリ 1：21、I ヨハ 2：20、27）

#### 3、一部の例外

使徒の働き 8：14-17、19：1-6 に見られるような、内住の一時的な遅れは、特別な場合であって、それらは使徒の働きの過渡期としての性格に起因している。

### III 内住の教理の問題点

すべての信者に聖霊が内住しているという事実は、次の聖句によって攻撃されてきた。（I サム 16：14、詩篇 51：11、ルカ 11：13）しかし、当時はすべての聖徒に聖霊が内住しておられるときではなかったので、神の主権によって、聖霊は与えられ、取り去られたのである。

前述の使徒の働きの二つの聖書箇所においても、その過渡期的な性格を考えれば説明がつく。それよりも、より多くの箇所が、現在のすべてのキリスト者に聖霊が内住しており、油注ぎを受けているのであることを支持している。

#### IV 聖霊の内住とその働きとの比較対照

- 1、聖霊の内住は新生と同じではない。
- 2、聖霊の内住は聖霊のバプテスマと同じではない。
- 3、聖霊の内住は聖霊の満たしと同じではない。

#### V 聖霊の証印

聖霊の証印は、聖霊の内住と同じように、全くの神のみわざであり、信じて救われた瞬間におこるものである。(Ⅱコリ 1：22、エペソ 1：13、4：30)

聖霊の内住と証印は、体験ではなく、信仰によって受け入れられるべきものである。それらは、救いの確実性と安全性、そして、神の所有であることを示すものであり、それらは既に完了した処理の象徴である。この事実は、キリストを信じるすべての信者の心に、大きな確信と慰めをもたらすものである。

#### [付録]

信仰と同時におこる聖霊の働き

Renewal . . . . . 新生

Indwelling . . . . . 内住

Baptism . . . . . バプテスマ

Sealing . . . . . 証印